

## 9月23日(土) 秋の一斉清掃

9月23日に秋の一斉清掃を行いました。側溝の泥水やゴミ、落ち葉などを小垣江地区全域の各世帯の方々の協力の元、清掃する行事です。私達地区委員が各地区の世帯を回りたくさんの土嚢袋を回収しましたが、中には一人で持てない程の土嚢袋もありました。小垣江地区が清潔に保たれているのも各世帯一人一人のご協力がある事の再認識させられました。一斉清掃は毎年行われている行事です。来年も何卒ご協力お願いします。



## 10月22日(日) 神明神社例大祭

朝晩がすっかり涼しくなった秋晴れの日、早朝から馬を曳回す足音と共に、子ども神輿を曳く「ワッショイ！」の掛け声が響き渡りました。山車の曳き回しには多くの中学生の参加もあり、幅広い年齢の方々が参加して奉納されました。神明神社の境内では多くの屋台が出店され、食べ物の屋台には行列も見られました。また、勇壮な駆け馬の途中ではポニーを子供達が曳く時間もあり、親子共に楽しむ姿が見られました。最後に厄払い大投餅が行われ、大盛況の中、お祭りが締め括られました。





## 9月26日(火)秋の交通安全一斉大監視

9月26日に秋の交通安全一斉大監視が行われました。一斉大監視は県全体で人命の尊重を最優先に、一人一人が、交通ルールを理解した上で交通安全意識と交通マナーを高め、交通事故のない社会の実現を目指して推進するものです。交通ルールは変更されることもあり、意外と細かい交通ルールは知らなかったりするものです。小垣江地区では、見守り隊・パト隊・子ども会・女性部・地区委員・小学校の先生などが協力して声掛けをしていました。こうした小垣江地区の各関係者の方々の行動が、日々尊い命を守っていると思います。一斉大監視は年4回行われています。気が向いた時に一度交通ルールの見直しを HP などで確認してはいかがでしょうか？



## 読んでおくれん「小垣江の歴史・文化・史跡探訪」

シリーズ 99 「犬ヶ坪村のまとめ」 その2

記 石川四十美



この古文書は犬ヶ坪村に出された最古の古文書である。「子之年免定之事」で貞享元年(1684)10月25日に発行された年貢米割付状である。高66石9斗4升で村のはじまりである。最終的には犬ヶ坪村は190石となる。(小垣江村は1255石)次に古い資料は元禄八年(1695)の「新村取立之儀相願出候」であり、これで寛文五年(1665)小垣江村から13人(12人説あり)が出郷し小

垣江神明神社勧請の犬ヶ坪神明社が出来たとある。犬ヶ坪との地名はこれより7年前の開拓に着手した萬治元年(1658)が戌年だったため戌ヶ坪と称し、後に犬ヶ坪になったと思われる。以後、庄屋組頭を中心に村運営をしていて、特に正徳年間(1711-16)には「乍恐奉願候事」や「乍恐以書付奉願上候口上之覚」の古文書が珍しく残っている。その後は散発的に残存する年貢割付状ぐらいで他の文書類は極めて少ない。そんな中でも庄屋さんの氏名を登場順に列記してみると『吉左衛門』『彦左衛門』『利兵衛』『平蔵』『重治郎』『吉衛門』『桑右衛門』『竹蔵』などとなる。ご先祖様がみえましたか。

犬ヶ坪村は貞享元年(1684)ごろに成立し、明治11年(1878)までの約200年間村として存在し、小垣江村から出て小垣江村に戻って消滅した不思議な村である。

11月中旬  
～12月中旬  
の予定

- ・ 11月19日(日)
- ・ 11月26日(日)
- ・ 11月20日・30日
- ・ 12月2日(土)
- ・ 12月6日(水)

地区総合防災フェスティバル・・・小垣江自主防災会  
交通安全教室・・・公民館  
交通事故ゼロの日・・・班長・見守り隊・パト隊・地区  
クリーン大作戦・・・緑水会・地区  
年末交通安全一斉大監視・・・見守り隊・パト隊・地区